

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		P E あいおん		公表日		2024年10月22日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		3	1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4		・適切な配置に加え、障がい者支援経験者、元教員などが在籍しております。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	1	・机の角などにクッション素材を付けているなどの環境配慮を行い、東京都の指導に基づいた構造化を行っております。	・日々の活動スケジュールを分かりやすい方法で提示する必要がありますと感じているため、マグネットや絵カードを用いた視覚化を進めてまいります。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		3	1	・使用する器具だけを出し、少しでも広いスペースを確保できるようにしております。	・衛生管理の意識をさらに高め、清潔に保てるよう清掃の徹底を行ってまいります。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4		・必要に応じて相談室を使用するなどし、クールダウンや構造化が行える環境を整えております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		4		・日々の振り返りを行う、所属会議内で情報共有をはかるなど皆が同じPDCAサイクルを共有できるようにしております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4		保護者向け評価表を実施、評価を職員間で共有し改善しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		2	2	・決まった時間は設けてはおりませんが、気になることがあればその都度意見交換を行っております。	・機会が少なく感じているため、話し合いの場を増やしていきたいと考えております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			4	・外部評価は行っておりませんが、保護者向け評価表を基に必要に応じた改善を行っております。	・第三者評価受診の費用負担は高額であり、現状その額の捻出は難しいものがあります。成人の事業のように補助があれば是非、受けたいと考えております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		4		・キャリアアップの研修は多く実施されていると感じており、個人で希望するキャリアアップの受講も推奨されております。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		3	1	・今年度から支援プログラムを作成し、公表する予定となっております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		4		・アセスメントを実施、ケース記録も記入しており、面談時に活動の動画を見てもらう機会を設けております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		4		・活動の様子や、本人が感じている困り感等を職員で共有し、課題によって個別支援と集団支援を分けております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		4		・利用者の受け入れ前に当日の流れと情報を共有しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		3	1	計画期間ごとにアセスメントを行ったうえで、個別支援計画を作成しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		3	1	計画期間ごとアセスメントを行った上で、個別支援計画を作成しております。事業所内で面談を持ち、ニーズの聞き取りや支援方法の共有に努めてまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		2	2	・指導経験者を中心にプログラムの立案を行っております。	・プログラムの立案に関して、皆が意見やアイデアを出し合い、よりよい支援のためチームで考え工夫していきたいと考えております。

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・常にアンテナを広げ、利用者が興味を持ちそうな活動を提供できるように心がけております。年間を通して行う活動と月替わりの活動に分け立案しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・日々の活動において、個々の状況を観察し、課題によって個別支援と集団支援を分けております。また、内容を計画に反映しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・利用者の受け入れ前に当日の流れと情報を共有しております。	・情報共有の漏れがないよう、チームでの連携・共有ができるよう工夫をしております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	・活動終了後に、個々の様子を記録にまとめ、次回以降の支援計画について話し合っております。	・支援に関わった職員間での共有が必要だと感じているため、情報共有の時間を取るよう工夫が必要だと考えております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	・必要な場面に関して動画を撮影し、記録をとっております。	・記録の漏れがないよう情報共有を確実に行ってまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		3か月に1度、もしくは半年に1度はモニタリングをし、支援計画の見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	1	ガイドラインに沿った内容で将来の社会生活を見据えた支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	2	・年齢に応じた自己決定を優先して、活動に臨めるようにしております。	・今後は利用者が選択できる活動内容や提示する方法を工夫したいと考えております。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・日程を調整し、担当者が会議に出席しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	契約時に希望があれば、医療機関等の連絡先を控え連携の体制を整えております。	・放課後等デイサービス事業が単独で主導して体制を整えることは、立場上難しいと感じております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	・送迎に関する連絡は主に保護者となっております。	・保護者からの依頼があれば、学校との情報共有を行っております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4	・主に保護者からの聞き取りや書面での情報共有になりますが、生育の背景を知った上で配慮出来るよう心がけております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4	・現時点でそのような事例がまだございませんが、保護者の方の許可をいただいたうえで情報共有を考えております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	・これまで発達に関する専門機関との連携はありませんでしたが、運動・視機能に関する専門機関との連携は行っております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	・近隣に左記の施設等がなく、また機会もないため行っていません。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・法人代表が自立支援協議会へ参加しております。事業所としても、市が主催する放課後等デイサービス連絡会への参加をするなどして連携をとっております。また、自治体の広報誌や地域の事業所一覧に掲載していただいております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・サービス提供記録には毎回写真を添え、様子をお伝えしています。必要があれば電話でも発達に関する相談をお受けしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	・障がい児教育の経験を基に、日々の接し方や家庭で出来る支援方法を提案しております。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に、運営規定や利用者負担額等について説明しております。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・契約面談、個別支援計画面談時に聞き取りを行い、助言と支援を行っております。頂いた情報を基に本人に対する支援の工夫も行っております。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		・対面で個別支援計画面談を行い、説明を行っております。保護者の方から同意をいただき、署名をいただいております。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・障がい児教育の経験に基づき家庭で出来る支援方法などを提案しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	保護者対象の進路相談会や、年度末に新年度にむけた事業説明会を行っています。後援会に入られた方には、別途交流会を開催しております。	・「きょうだい」同士の交流は現在行っていないため、検討したいと考えております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応が出来るように努めております。 ・重要事項説明書に第三者窓口に関して記載しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		・インスタグラム、ホームページ、フェイスブックを活用し、活動内容の紹介などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個人情報記載された書類等は、鍵付き書庫に保管しております。また、廃棄書類はシュレッダーで処理しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・利用者、保護者の状態に応じて、視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達に努めております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	・まだ行事が少なく、地域住民の方をお招きする様なものは行っていません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	・各マニュアルを作成し、研修を定期的に行うようにしております。必要に応じて保護者向けにマニュアルの配布もしております。	・詳細なマニュアルを用意し、訓練などを行っていききたいと考えております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	2	・定期的に防災訓練、避難訓練等を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		・フェイスシートを1年に1回記入していただいております。情報の更新があった際にはその都度フェイスシートを更新しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・現在おやつ提供や食事の提供は行っていませんが、アレルギーの有無に関しては契約時に必ず確認しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	・法人の全体研修で安全管理に必要な訓練を実施しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・HPやSNSを通して、研修の実施とその様子をお知らせしております。 ・事業所内に避難経路等を掲示しております。 ・契約、面談時に非常時の対応について説明しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	・ヒヤリハット報告書を作成し、再発防止に努めております。	・共有が不十分な部分のみみられたため、フォルダーを作成し情報の共有を確実にしていきたいと考えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・法人内に虐待防止委員会を設置し、委員会主導のもと定期的に職員研修を実施しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・現時点で該当事例はありませんが、契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義について記載しております。		